

仙台における文化による復興支援の取組

事例1. 音楽の力による復興センター

被災者に直接音楽を届け、鎮魂、癒し、地域再生のための希望の灯をともしことを目的として設置されたセンター。事務局は仙台フィルハーモニー管弦楽団が担う。

仙台フィル楽団員や地元アーティストがボランティアで活動し、避難所、公共施設、商店街など各地で演奏活動を実施している。



主な活動実績

- ・ 避難所コンサート 20回
- ・ 復興支援コンサート 105回 (H23.6.5現在)

アルクト

事例2. ARC>T (アートリバイバルコネクション東北)

文化・芸術に関するひと・まち・場の再生とアートを通じた東北復興への寄与を目的として、仙台の舞台表現者らが中心となり結成された組織。

他団体との協働・連携による被災地での支援活動や、ネットワーク構築のための情報発信などを行っている。



主な活動実績

- ・ 4トントラックを舞台とした沿岸被災地巡回公演
- ・ 避難所での体操やコミュニケーションのワークショップ
- ・ 障害者施設でのダンス・美術ワークショップ
- ・ 各種イベントにおける絵本の読み聞かせ、紙芝居などの活動

事例3. 3がつ11にちをわすれないためにセンター

せんだいメディアテークが開設。
メディアを活用し、復旧・復興の
プロセスを発信・記録することを
目的とする。

機材やスタジオ提供などの支援や
「震災復興アーカイブ」の作成、
インターネットを通じた情報発信
などを行う。



主な 活動実績

- ・ センター登録者数：約30人（H23.6.8現在）
- ・ ホームページを開設し、センターが収集した映像等作品や各種情報を発信

その他の事例

- ◆市内外のアーティストによる被災地での演奏会・上演会
- ◆連続トークイベント「歩きだすために」の開催
（於・せんだいメディアテーク）
- ◆(財)仙台市市民文化事業団による被災地支援事業への助成
（神戸芸術文化会議からの協賛金を財源とする）
- ◆市内有志により発足した「こどもとあゆむネットワーク」
（これまでに4万冊以上の絵本を被災地に届ける）